

平成27年度第4回理事会
議事録

平成28年 3月 7日

一般財団法人 神戸市水道サービス公社

一般財団法人神戸市水道サービス公社
平成 27 年度 第 4 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 28 年 3 月 7 日 (月) 午後 3 時 ~ 午後 4 時
2. 会 場 神戸市役所 4 号館 1 階 4011 会議室
3. 理事現在数及び定足数並びに出席理事及びその氏名
理事現在数 4 名 定足数 4 名
出席理事数 4 名
出席した理事の氏名 安藤 直哉、山本 裕光、中塚 弘明、児玉 成二
4. 監事現在数並びに出席監事数及びその氏名
監事現在数 2 名
出席監事数 2 名
出席した監事の氏名 森田 成敏、和氣 大輔
5. 議長の氏名
安藤 直哉
6. 議 題
第 1 号議案 平成 27 年度事業計画及び予算について
第 2 号議案 定時評議員会の招集の決定について
代表理事及び業務執行理事の職務の執行の状況の報告
8. 理事会の議事の経過の要領及びその結果
 - (1) 定足数の確認
冒頭で事務局が定足数の充足を確認した。
 - (2) 議案の審議状況及び議決結果等
 - ①第 1 号議案
「平成 28 年度事業計画及び予算について」
平成 28 年度事業計画及び予算について山本常務理事が説明を行った。
これについて審議の結果、出席理事全員異議なく、本件は可決承認された。
 - ②第 2 号議案
「定時評議員会の招集の決定について」
定時評議員会の招集の決定について山本常務理事が説明を行った。
これについて審議の結果、出席理事全員異議なく、本件は可決承認された。

③報告事項1

「代表理事及び業務執行理事の職務の執行の状況の報告」

代表理事及び業務執行理事の職務の執行の状況について山本常務理事が報告を行った。

(4) 閉会

以上をもって議案等の審議等を終了したので、午後4時00分に議長は閉会を宣言し、解散した。

以上の決議を証するため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人2名がこれに記名押印する。

平成28年 3月 7日

一般財団法人神戸市水道サービス公社

議 長 理事長 安 藤 直 哉 ㊟

議事録署名人 監 事 森 田 成 敏 ㊟

監 事 和 氣 大 輔 ㊟

理事： 先日の市会（予算特別委員会）においては、平成 28 年度事業について次のような要望・意見が出された。

- ① 集合住宅の水回り相談センターの開設については、「市民に水道に対する安心感を与える」という点で今後の展開が期待されており、局と連携して PR を行っていく必要があること。
- ② 水の科学博物館の指定管理運営については、地元の共同企業体による運営と施設のリニューアルにより、新たな博物館に生まれ変わることに対する期待度が高いこと。
- ③ 主要 3 業務の競争性導入について、他都市の状況をみると、競争性導入後一旦単価は下落するものの、入札を重ねる毎に、一部事業者が淘汰され寡占化することで単価が上昇する傾向となっており、公社にはセーフティネットとしての役割が期待されていること。

これらを踏まえ、また、外郭団体経営評価委員会の意見等も踏まえ、来年度の中間評価において、公社のあり方について検討する必要がある。

理事： 公社としては、検針業務に引き続き、満了メーター取替業務、初期未納など新たな競争性の導入に対応するため、コスト削減等の経営努力を行ってきており、今後、水道の安定的な運営に寄与し、水道事業のセーフティネットとしての役割を担うことができると期待している。

監事： 西部センター管内の検針・未納整理・閉開栓の包括委託については、価格点だけではない総合評価方式が採用されているため、過当競争による組織の疲弊を防ぎ、安定的な業務履行が一定確保されると思われる。水は生活の一部であり、民間企業だけではできない、水道局を補完する領域において、今後もしっかり役割を果たしていただきたい。

監事： 国内事業体支援について、公社が主となって神戸市周辺都市の業務を実施することは、人口減少問題を抱えている県下の他市の事業体にとっても有用であり意義のある取り組みであると考えている。今後も引き続き広域的な事業展開に努めていただきたい。